

アジア国際社会福祉研究所は6年目の春を迎えました

VR2名の学位取得！そして新しい所長と研究員を迎え歩み続けます

6年目の春、アジア国際社会福祉研究所は東田全央・主任研究員を迎え、戸塚法子所長の新体制のもと新しい歩みを始めています。東田主任研究員は、スリランカやモンゴルで活躍した経験があり、「国際開発ソーシャルワーク入門」など著書多数ある新進気鋭の研究者です。研究所の新しい一員としてのご活躍にどうぞご期待ください。

淑徳大学が研究所を開設した2016年に始まった「ビジティング・リサーチャー（VR）論博プログラム」はアジアのソーシャルワーク人材養成に貢献しています。

2022年3月10日、淑徳大学大学院総合福祉研究科での最終審査を経て、第2期VRデチェン・ドマ氏と、第4期VRオマルペ・ソマナンダ師への博士号（社会福祉学）が授与されました。新型コロナの影響による日本入国規制のため、残念ながら3月15日学位授与式への出席はできませんでしたが、近々日本にお招きして学位記授与式の開催と記念講演の企画検討を進めています。すでにお二人は研究成果をそれぞれの本務校での研究活動へ繋げるとともに、それぞれの国の社会福祉教育の核としてご活躍されていらっしゃいます。研究所にて熱心に執筆を続けられたドマ博士、ソマナンダ博士のご努力に敬意を表するとともに、セッションや審査に関わってくださった淑徳大学総合福祉研究科をはじめ国内外の教授陣のご尽力に心より御礼申し上げます。

新しい所長と研究員をお迎えしたアジア国際社会福祉研究所は、学位取得したVRたちとの繋がりも活かしながら国際ソーシャルワークと仏教ソーシャルワーク研究ネットワークに貢献してまいります。

◆アジア国際社会福祉研究所のニュースがSナビにて月1回程度配布されております。



写真 1 デチェン・ドマ氏（ブータン王立大学）



写真 2：オマルペ・ソマナンダ師（スリランカ佛教パーリ語大学）